

刊夕 e 三廿月六

# 常警高日新聞

定額一冊金... 發行所 常警高日新聞社

## 人生行路難の解と孝道の作興

麻生 正 蔵

斯様の次第で、孝と言ふものは、決して一種特別無類な道徳であるのではない。さう言ふ意味で、孝は天下の達徳である。蓋し孝は宇宙の根本生命の意志として親に捧げ仕へる生活であるからである。さう言ふ意味で、孝道を認識理解するならば、孝道は即ち宗教である。私は考へざるを得ないのである。宗教なるものは後生を願ふものではない。宗教は人間が本當の人間として生きて行く本當の道である外、何物でもない。人間が人間として生きる本當の道は、人間の本来の善性即ち本性を實現發揮する事である。而して宗教は此の人間の本性本質を實現發揮する道に外ならぬのである。而して人間の本来本質である宇宙の根本生命の心の儘に生きる言ふ事が、即ち人間の人間たる所以の本質を完ふする所以であつて、それが即ち宗教であるが故に、孝道は即ち宗教であると言つても差支へはない。又他方から言へば、宗教と言ふものは宇宙の父の心を心とする親孝行である

から、孝道であると言へるのである。然るに、若し孝道を一種の宗教的なものと観ることが出来るならば、忠道も亦同一意味の廣大化した宗教であると言ふも決して失言ではあるまいと思ふ。併し忠道を宗教と言つたならば、抗議を提出する者があるかも知れないがさう言ふ解釋は決して我皇國の國體を冒瀆するものではなく、寧ろ國體の尊嚴威儀を深からしむるものであると私は信じて居る。

孝道は祖先崇拜と切つても切れぬ鞏固の關係を有するものであつて、退嬰保守の民族の道であるから、祖先崇拜より子孫崇拜の方が適當な、而して新時代にふさはしいものであると言ふ考へ方もある様であるが、  
ドスンと 急激に上 下動を伴ふのは近距離に起つた地震、最初の微動の長いのは遠距離でまづ被害が少い。瓜の枝には茄子はならないし、瓢箪から駒は出て来ないのである。水は水源より高きにならないのである。優秀なる祖先なしに、優秀な子孫はあり得ないのである。完全なる神の子である

神性の内在を信する者のみ獨り神の完きが如く完くなく得る確信を懐き得るではないが、少くとも我大和民族の祖先崇拜は即ち子孫崇拜であつて、民族の進化發展の原動力である。而して  
【朝】すまし汁一ゆば  
【書】旨煮鶏肉 新ごぼ  
【晚】なべ鳴焼き一なす  
其處に前途洋々たる我民族の進化發展が期せらるゝのである。  
然るに、親に間違ひの行動があり得る様に子にも亦間違ひの行動があり得るの事は、人間の有限相對性の然らしむる所で、止むを得ないのである。親孝行の如きも種々間違つた行動となつて世に表はるゝことがある例へば親の大病を救はんが爲に他人の金銭物品を窃取する者があり、又は親の貧苦を救はんが爲めに貞操を賣る醜業婦となる女性がある。併しそれは眞の孝道に反する誤れる孝道であつて決して孝道と言ふべきものではない。又甚しきに至つては、實母の嫌ふがまゝに幾度なく、妻を娶つては之を離縁した人がある、それはその母に對しては孝の形式や氣持は持ち得られたにしても、幾多の婦人の幸福を奪ひ取つて不道徳たるを免れないのである。

門專  
産婦科  
花柳病科  
人科  
井坂醫院  
平町田町 電話五五九番

看護婦急派の求めに應じます  
平看護婦會  
一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫  
電話三〇七番

涼しい... 麥一文字帽子  
ツルヤ  
電一四〇

耳鼻咽喉科専門  
氣管食道科  
大和田醫院  
平南町 (電話一七〇番)

吉田眼科病院  
平各販賣店  
小川屋本店  
太陽顔ソース  
快味を!!!  
是非御試下さい。

# 縣下の交通量

## 郡内主要道路

### 調査集計成る

平土木監督所で去る一日から三日間調た石城郡下主要國縣道の交通量は二十日漸く集計なつたが重なる町村三日間平均の交通量は左の如くで縣下一であつたと

△四倉町仲町(國道六号線) 歩行者三千八百二十六、牛馬車四十七、人力車二

自轉車一千二百八十、荷車百六十三、自動車二百六十三

△平町一丁目(國道六号線) 歩行者五千六百八十九、牛馬車八十四、人力車八

自轉車三千七百三十四、荷車百九十八、自動車七百三十九

△内郷村(國道六号線) 歩行者一千五百五十六、牛馬車百二十二、自轉車一千四百〇一、荷車三百三十、自動車四百二十七、人力車〇

△江名濱町仲之作 歩行者一千七百十七、牛馬車十六、自轉車六百十九、荷車九十一、自動車百九十四、人力車〇

## 購籾資金

### 倉入れ指定

本縣では近く中小製籾者

如く指定したと  
平農業倉庫 澤渡農倉代  
表澤田丑五郎方 入遠野  
農倉代表榎田儀助方  
男女青年  
團長會議  
来る廿九日

### 團長會議

濱三郡聯合男女青年團長會議は来る二十九日午後三時より平第三小學校講堂に於て開き今年度の事業を協議すると

## 四倉市場は

### 既に二萬貫突破

石城郡下春籾出廻りは愈々盛りとなり去る廿一日に於ける四倉籾市場の取引は實に二千餘貫の多量に達し同市場本年度取引豫想三萬貫のうち既に二萬貫の取引を見て居る盛況で今期は四萬貫を突破されるものと豫想され同市場では毎日整理の講師として出張すると

### 田中教諭出張

磐城高等女學校音樂教諭田中金三郎氏は明日より三日間相馬郡小高小學校に於て開催される同方部唱歌研究會の講師として出張すると

## 小麥増殖委員に

### 篤農家を囑托す

小麥増殖五ヶ年計畫實施の爲め石城郡各町村篤農家を實行委員に本縣より囑託任命あつたが氏名左の如くである

- (泉) 志賀澤之助 三戸良治 吉田進(渡邊)安藤尾之吉 融田高知(植田)鈴木平次 古和口齊 古川權左衛門 阿部福榮(山田)下山田丑藏 大河内邦政 下山田一雄(錦)山

林治衛門(高久)藁谷久太郎 箱崎半吾(豊間)鈴木猪之助 鈴木留吉(江名)圓通豊太郎 馬目伊勢松作山源作(鹿島)齋部平四郎 荒川恒義(小名濱)菅原彌彌 鈴木定太郎(玉川)渡邊昇 村上重一

## 平水道の...

### 水源地殖林

澤渡青年計畫 平町上水道水源地好間川上流は森林伐採の爲め夏期の水不足を懸念するに至つた處水源地帯の澤渡青年團は伐採の儘では耕地に悪影響を及ぼすので五年乃至七年計畫で沿岸に杉苗二萬本植付るべく昨廿二日代表者が平町役場に青沼町長を訪問打合せを行つた

## 應援團募集

### 野球大會出場の

### 警中平商を

警陽野球後援會にては来る二十五日双中グラウンドに開かれる濱三郡中等學校野球大會に警中及び平商が出場するので之れが應援の爲め目下會員募集中であるが會費一圓で希望者は三丁目玉壽し宛申し込まれたいと

## 自治心指導

### 學級會生る

平商業學校では此程生徒の自治心を指導誘掖して訓育に資する爲め學級自治會を設けたが委員は五名にて毎月一回宛會を開く外金を據出して學級の美化を圖ると共に其他種々の事業を行ふものであると

### 職員野球大會

警中對平商の職員野球試合は明日午後一時より第一小學校

### △勿來市場

【白籾】六百五十貫(最高) 六圓三十錢(最低)五圓三十錢(馴)六圓八錢【黃籾】

百九貫(最高)六圓二十錢 (最低)五圓四十錢(馴)六圓十一錢

## 恐ろしい疫痢の流行期!!!

◎毎年六月始めより十月と申します

◎死亡率統計百人中六十五人以上として居ます

まづ豫防に經口免疫の

北里研究所製造 疫痢内服ワクチン

價格 幼兒一人分三十錢 大人一人分五十錢 (文獻進呈)

特約店 西村屋藥局

平町二丁目 電三

毎度御引立ヲ戴イタ 蒲鋒製造ノ

藤寅ハ例年通り初メマシタ

冷たいお美味シイ飲物

夏の夕ノ御散步ニハ是非御立寄チ

- アイスクリーム(山盛) 金拾錢
- あづきアイス(同) 金五錢
- ミルクケーキ 金拾五錢
- ソーダ 水(各種) 金拾錢
- みづ 豆(特製) 金八錢

◎其他氷水各種

出前迅速

平町一丁目

# 藤寅

番話一四一

# 中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七

# 酒類専門の賊

## 昨夜鍋嘉の土藏を襲ふ

### 郡内荒し自白

昨廿二日夜十二時頃平町二丁目鍋嘉酒店事野久八方七藏の錠前を破壊して一名の賊忍入り一斗入焼酎三本ビール半ダース等を窃取して逃走した、急報に接し平署にては大小事件山積して不眠不休の折柄にも拘らず早速安藤刑事部長、柏木、

# 新手の詐欺

## 煙草屋にすると

### 「手続代」を騙取

石城郡神谷村大字中神谷字瀬戸鈴木サト方へ去る廿一日午前十時頃平町四丁目五煙草専賣局員奥山文三と自稱する丸顔黒洋服の男が立寄り今度水戸専賣局で同村の煙草小賣業者を増加する事になつたからお前の處を小賣店に指定すると言葉巧みに述べ立て申請手續代と稱して六圓を騙取逃走した、より平署で目下手配中である

# 出席父兄

## 六百卅五名

平第一小學校にては去る十

大谷刑事其他八方に飛んで今朝午前四時頃眞犯人茨城縣下館町字片町二六生れ岡野政夫(三)が石城郡好間村字大館木賃宿高木屋方に潜伏中を難なく逮捕したが同犯人は郡内に於いて酒類専門四件の窃盜を働いて居る事を自白したと

# 眼の検査

## 近視と虎眼

平商業學校にては過般全校生徒四百十九名の眼の検査を行つた結果近視眼及びトラホーム患者は左の如くである

(近視眼) 一年一八 二年二三 三年二三 四年三三 五年一四 計百十二名(トラホーム) 一年二二 二年一三 三年一三 四年二 五年四 計五十三名

# 預けた娘の行方

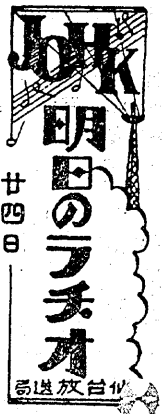
## けふ平署に捜査願

栃木縣佐野町西町居住石川映書興業部員西川寅之(三)さんは十年前平町映書館帝國館に勤めて居た際妻に死なれ一女給代(三)を新川町の村山ヨシさんに預けたが今は娘を取り取りたくともヨシさんの行方が知れず本日平署に捜査方を願出た

# 汽車通學

## 三班に分けて

平商業學校にては此程汽車通學生を三班に分けて夫々取締る事になつたが各班の正副班長は左の如くである



今夜も南西風驟雨 後天気良くなる

# 今晚の部

後六〇〇 子供の時間 獨唱 吉澤園子 ビアノ 伴奏 岡次郎  
後六三三 趣味講演 後七三〇 偉人を語る夕

# 明日の部

後九〇〇 講談 第一席 西尾鱗慶  
後九三〇 時報 ニュー ス 氣象通報 番組豫告 生駒相場

# 樗木元所長釋放

## 妻子に迎へられて

去る二月下旬以來平刑務所に收容され暗い生活百二十日餘に及んだ小名濱築港疑獄事件の中心人物元内務省

# 磐城鯉節の名聲を擧げんと

## 水産試験場で講習會

石城郡小名濱町縣水産試験場では來月一日より二ヶ月間鯉節製造講習會を開く爲め準備中である

# 裁判所だより

△既報双葉郡富岡町大字毛萱字前川原二十八番地耕地整理組合長佐藤徳右衛門(五)に對する詐欺及び平町十五丁目五番地元本縣農林主事補木村安三郎(五)に對する公文書毀棄公印不正使

前六三〇 基礎知識ノ話 講座(三三)橋本忠夫  
前九一〇 料理献立「茄子料理」小野やす子發表  
前一〇三〇 家庭講座 「歌を作る悦び」 四賀光子  
後二〇〇 掛合噺  
後二〇〇 家庭大學講座 「婚姻關係を繼續し難き重大なる事情ある時は離婚が許される」片山哲  
後六〇〇 子供の時間 兒童劇「ゴドモトレイダ

料面談(平町某)  
△土工夫 四十迄 日給八十錢位 外面談(平町某)  
△外交員 二十五以下 高卒 給料面談(平町某)  
回職を求める方  
△自動車助手 二十三才 尋卒 給料面談(双葉郡某)

# 久全屋商店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番  
□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は生命なり

# 木村病院

平新川町十九  
電話一六四番  
院長 木村寅次郎  
婦人科 内木宗八  
産婦人科 醫學士  
内臓外科 醫學士  
整形外科 醫學士  
泌尿外科 醫學士

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

第三百七十二席

近藤 勇の最期

近「人を欺き繩目の恥を  
與へ今また除參なせよとは  
不埒至極、速に斬れ」  
と申したが是は近藤の云  
ふことが理窟です、用ゐる  
意志があらば繩をかけるに  
は及ばない、香川敬三も是  
を聞き大いに恥じ入つたが  
是程の者を殺すは惜しい再  
び説いたが許き入れない、  
とところで彌々斬首に行ふこ  
とになつたが

香「何ぞ申し残すことがあ  
らば承り置くであらう」  
近「御厚志は忝じけなく存  
ずれど此の期に及び申残す  
こともござらん、して何人  
が拙者の首をはねるか」  
香「それは最も腕前の優れ  
た者に申し付けるであら  
う」  
近「その人をお撰み下さ  
い」  
と云はれて香川敬三は加  
納内匠を呼び

香「貴様と近藤とは長い馴  
染だ、依つて勇の首をはね  
ろ」  
加「それは御免蒙る、手前  
には近藤の首は斬れませ  
ん」  
香「斬れぬこととはあるまい  
畢竟貴様は近藤を恐れぬ

るから拳も鈍る、朝敵だと  
思へば斬れぬこととはあるま  
い」  
加「しかし是は餘人に仰せ  
付けられたい、手前には斬  
れません」



香「是非其の首を斬り度い  
と申して居る、これ加納介  
釋を致せ」  
内匠も是には困つたが今  
は厭とも云へず據るなく承  
知した、そこで香川敬三が  
酒肴を出して近藤に馳走し  
た、勇は酒を飲んだが肴に  
は手を付けず、首を斬ら  
れた時に切り口から食物が  
飛び出しては見苦しい、昔  
源の義家が奥州に兵を出し  
た時に安部の宗任の家來を  
捕虜にして其の首をはねる  
と斬り口から食べ物が飛び  
出して大いに笑はれたと云

香「弱い奴だな、  
近藤に問ふて見る  
が貴様でよいと云はる斬れ  
近藤、介釋人は加納内匠に  
致すが宣しいか」  
近「何んだと、内匠が拙者  
の首をはねると當人が望む  
とあらば介釋を申し付け  
る」

ふ事がある、胃に入つた物  
が首から出る譯もあるまい  
が憐れう云ふ傳説もある。そ  
れですら近藤は酒のみ飲  
んで物は食べないやがて處  
刑を受ける、場所を引き出  
された、盛として桶に水

をたへ、また土段を築き  
禱鉢巻をして一刀を引き抜  
いた加納内匠が近藤の來る  
のを待ち受けて居る、勇は  
悠々と蓮に着座いたし  
勇「これ犬、貴様畜生だが  
人間の首を斬ることが出来  
るか、それ打て」  
ズイと顔を上げた、内匠  
は犬と云はれて嚇と怒りス  
ラリ引き抜いた一刀、只一  
打ちと振り擧げたが、近藤  
に睨まれては斬ることが出  
來ない、刀を持つたまま考  
へてゐる

近「斬れぬか、さうであら  
う犬には人は斬れまい」  
加「何を申す此奴、ウー  
ム」  
と云つたがまだ斬れない  
そこで山本舍人と云ふ者が  
代つて出たが、近藤に對ひ  
舍「自分ことは山本舍人と  
申する者にござる、高名な  
る近藤氏の介錯を致すは一  
代の譽れと存ずる、貴公に  
は心靜かに世を去られる  
様」  
と申した、近藤是を聞いて

近「其の許は立派な武士で  
あるな、其の許の介錯にて  
鬼籍に入るは本懐の至り」  
と云ひながら四邊をキツ  
と見廻はして、茲に辭世の  
詩を吟じた  
近「靡他今日復何言、取義  
捨生吾所尊、快受電光三尺  
劍只許一死報君恩……斬  
れツ」  
と云つた、折から頭上に  
閃く一條の白電、バサリ  
木祥の音を立てたが、近藤  
勇の首は落ちた、時に年三

十八、一代の英雄も四十路  
に足らずして武州板橋の驛  
にて世を辭しましたは洵に  
惜しむべきことです。扱て  
近藤勇が討たれたと聞いて  
土方歳三は天を仰いで嘆息  
したが如何とも致し方がな  
い、そこで兵を率ゐて流山  
から市川に走り、大鳥圭介  
の手に屬して下野に入つて  
戦ひ、それより奥州に來て  
今度は函館に入り、官軍の  
討手を引受け遂に五稜廓に  
戦死いたしましたが、近藤  
勇の最期は斯くの如く悲壯  
なものであります。つき  
ましては長々打續きました  
幕末十剣士もここに近藤勇  
の悲壯なる最期を以て此稿  
を完結する事と致します、  
何卒相變らず御愛讀願ひま  
する。

【完結】

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病  
**林病** 腸胃病 腸病 傷寒病  
門專  
院醫科  
院醫科  
七〇一話電町南平

市原醫院

平町田町  
電話一四番

御贈答に  
記念品に  
諸景品に!!!!!!

漆器を!!!

専門の



誠實勉強  
親切第一  
在庫豊富

是非御用命を

ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ  
ル、ヌリモノミセ  
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

各産漆器  
専門卸小賣

漆器店

店員募集 十三才位 外 小 店 員

咽喉專門

入院 應需院  
平町田町七〇番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
電話六九一

★.....★ 夏.....★	★.....★ 服.....★
シルクポトラ 最上仕立三ツ組	拾六圓五拾錢
ポトラセビロ(上下)	八圓三十錢
黒セル上衣	三圓ヨリ
白セル上衣	一圓五十錢
白セルヤラコ	五十錢ヨリ
白セルズボン	三圓五十錢ヨリ

平町四丁目停車場通  
**正札堂洋服店**  
(電話三六番)